

インドネシア共和国
北ジャカルタの学校における防災能力向上プログラム
四半期報告

1. 事業概要

事業名	北ジャカルタの学校における防災能力向上プログラム
対象国・地域	インドネシア共和国 ジャカルタ州都特別州 北ジャカルタ市
事業期間	2014 年 5 月 1 日～2015 年 4 月 30 日
報告期間	2014 年 5 月 1 日～2014 年 7 月 30 日
予算	500 万円
事業目的	北ジャカルタのスラム街がある貧困地域の小学校において、避難訓練の実施と避難キットの配布を通じて、子どもたちの防災能力向上を図る。

2. 事業進捗概要

2014 年 5 月より事業を開始しましたが、学校の新学期が 7 月より開始のため、5 月から 7 月は事業準備をメインに行いました。

まずは、対象の 20 校において、学校における緊急時対応計画を最終化しました。そして、対象校の中で 1 校 (SDI Daarut Tauhid 小学校) を選出し、パイロットとしてこの学校で避難訓練を実施しました。訓練には、他校からも学生や教師を呼び、220 人の生徒、26 人の教師、14 人の見学者（警察・軍・コミュニティリーダーなど含む）が参加しました。またこの避難訓練に必要な手動サイレンやトランシーバーなどを購入し、使用しました。

今後は、12 月ごろから始まる雨季の洪水に備えて、10 月から 12 月の間に、残り 19 校における避難訓練を実施する予定です。

3. 活動写真



↑パイロットの避難訓練の様子